

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	70179
事業名	デジタル活用支援推進費					
評価担当課	所 属	デ)スマートシ デジタル企画課			電話番号	011-211-2136
施策名	誰もが申請や相談等の手続きをオンラインで完結することができる					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理	○ 法定経費	○ 指定管理費
	○ 直営 ○ 一部委託 ● 全部委託			○ 補助・助成	○ その他	

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	社会全体のデジタル化に伴い、自治体の様々な手続のオンライン化も加速していくが、「デジタル格差」の解消が重要な政策課題である。札幌市がオンライン化の効果を最大限に発揮し、キャッシュレス決済の活用やマイナンバーカードの普及・利活用等といった市民目線のデジタル改革を実現していくためにも、可及的速やかに、デジタル格差の解消、特に高齢者に対するデジタル活用支援に積極的に取り組んでいく必要がある。
	事業内容(何を実施し)	区民センター、チカホなどで行政手続きのサポートについてのスマホ教室を実施する。 【令和5年度に実際に取り組みを行った内容と結果】 令和5年度は、総務省の補助事業である「デジタル活用支援推進事業」の採択を受けた民間事業者と連携し、各区民センターやチカホなどでスマホ教室を実施した。講座内容は主に、スマホの基本操作(電源、電話、文字入力、マップ等)、マイナンバーカードの申請方法、LINEの使い方、市独自講座(公式LINE、そなえアプリ、ワクチン接種の予約方法)など。結果として、実施回数が延べ7, 404回、参加者数が延べ11, 911人と、多くの市民に参加いただくことができた。
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	本市と民間事業者が連携し、デジタル活用に不慣れな高齢者等に対してオンライン行政手続き等を学ぶ講習会等を実施することで、デジタル活用の格差を是正することとともに、デジタルを活用した社会を促す。
	他都市の状況	○東京都日野市「高齢者を対象としたスマートフォン体験講座」 ○石川県加賀市「高齢者や地域住民を対象としたオンライン申請講座等」 ○福井県福井市「高齢者を対象としたスマートフォン活用等に関する相談会」
	市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☐ 対象外

令和4年度決算額	0 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0 人工
令和5年度予算額	4,000 千円	うち特定財源	2,000 千円	正規職員業務量	0.3 人工
令和5年度決算額	6,154 千円	うち特定財源	3,650 千円	正規職員業務量	0.3 人工
令和6年度予算額	5,900 千円	うち特定財源	2,900 千円	正規職員業務量	0.3 人工

指標	アウトプット活動指標1	累計受講者数				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		983	1952	12808	13528	14248	14968
	↓						
	アウトカム成果指標1	今後もデジタル技術を活用してみようと思った人の割合				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		-	50	92.9	80	80	80
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方						
	アウトプット活動指標2					という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標2					という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方						

今年度の見直し内容	札幌市聴覚障害者協会と連携した聴覚障がい者向けの講座も開始する予定。
来年度以降の方向性	これまでは参加者のほとんどが高齢者であったが、デジタルに不慣れな方には高齢者だけではなく障がい者も含まれるため、今年度は札幌市聴覚障害者協会と連携した聴覚障がい者向けの講座も開始する予定であり、来年度以降も引き続き対象の拡大を検討していく。